



碧南ロータリークラブ週報

第2372回例会 平成19年8月8日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

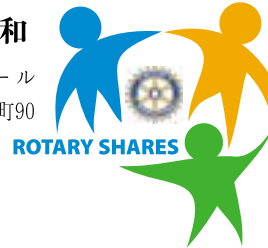
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは
分かち合いの心

● 斉 唱

ロータリーソング 「我らの生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

刈 谷RC 平野和一君、御友重孝君、小林雅紀君、野村勝実君、石川博之君、
神谷光義君、大竹憲治君、吉原孝彦君、深谷稔彦君、兵藤文男君、
鈴木光彦君、嶋津孝久君、毛受 豊君

三河安城RC 榊原正志君、堀本保美君

安 城RC 寺部 暁君

高 浜RC 小笠原芳夫君、神谷公一君、神谷昌彦君、斎藤正吉君、都築 求君
中村さと子君



会 長 挨拶

今日は例会場が商工会議所の都合で変更になり、会員の皆様にご足労をお掛けいたしました。

R.I.2760地区より、新潟県中越沖地震災害に対する義援金の協力依頼がありまして、理事会にて災害義援金の予算の中より1人1000円、会員80名、計80000円を義援金として支出する事を承認いただきましたのでお知らせいたします。

本日の講師の先生として、当クラブに何度かお越しにいただいております元中日ドラゴンズ名キャッチャー、そして現在のCBC野球解説者木俣達彦氏をお迎えしております。

最近の中日ドラゴンズは強いのか、弱いのか、優勝できるのか、みていて本当に不安いっぱいの現状です。しっかりしたプロの目で解説していただけるのではないのでしょうか。

また無二の親友の石川春久さんより、学生時代から長いお付き合いの中で木俣さんの野球人生のご紹介をされますのでお聞きください。

今日はニュージーランドの国旗と日本とちょっと違う情報を紹介したいと思います。

青地に左上に(カントン部分)イギリスの自治領だったことを示す、ユニオンジャック。右側にこの国が南半球にあることを示す南十字星が入っています。

通貨はニュージーランドドル、面積は日本の70%程度の島国で、国名の由来は「新しい海の地」よりからニュージーランドと名付けられました。

南半球の国ではほぼ日本と経度が逆の位置にあり、太陽は東から出て西へ日が沈みますが、日本と異なる点は太陽は北側を通ります。不動産販売も北向きの家屋が日当たり良好で売買されてお

ります。例として不動産広告も「北向き日当たり良好等々」とかかれており、又洗面台の水の渦巻きも日本とは逆に右巻き渦となるそうです。

もちろん気候も日本と逆で今は真冬となっています。星座も南十字星が北半球の北斗七星と言う感じです。

幹事報告

- ・第2回理事会報告並びに他クラブの例会変更等は幹事報告の通りです。
- ・碧南市社会福祉協議会に全員登録をします。
- ・新潟県中越沖地震の義援金に協力（会員80名×1000円）寄付
- ・地区大会の案内がきておりますので出欠を〆切日までに提出してください。
- ・次週8月15日（水）は定款第5条1節Cにより休会
- ・50周年記念実行委員会正副委員長会議を8月22日（水）開催します。



石橋嘉彦幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 80名（内出席免除者 12名）出席者 60名	
出席対象者 54/68名	出席率 79.41%
欠席者20名(病欠者0名)	前々回修正出席率 92.65%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

長田 豊治様 宜しくお願ひします。

平岩統一郎君 インドへ行って来ました。

石川 春久君 鈴木会長さんのご指名で、本日木俣達彦さんを迎える事が出来ました。有り難うございます。

伊藤 正幸君 いいことがありました。

堀田 益隆君 第10回元気ッス！へきなん出場で、けんしんチームは入賞を果たし、翌日の清掃活動にも貢献することが出来ました。

クラブフォーラム

講師紹介 石川春久君

木俣さんをご紹介します。皆様ご存じの通り木俣さんは19年間ドラゴンズの守備の要のキャッチャーを務めて参られました。今日は中学高校時代のお話をさせていただきますが、彼は岡崎の葵中学の出身で当時からスポーツ万能で、会員の岡田さんと相撲大会で対戦したこともあるそうです。中京商業へ入学後2年から高校野球は計4回甲子園へ出場され、惜しくも優勝は逃しましたが、秋の国体で全国制覇をされております。今日はよろしくお願ひします。

卓話

CBC 野球解説員 木俣達彦氏

碧南で何回となく講演会をしてきました。本日は野球の歴史についてお話しさせていただきます。プロ野球が始まったのは昭和11年で、当時は1リーグ制でジャイアンツが頂点でした。当時のエースは沢村栄治でかれは一度戦争にいており、そのとき手榴弾投げで肩を壊してしまい帰ってきたときは以前のような投手ではなく、2度目の出兵で帰らぬ人になってしまったそうです。その時期にドラゴンズでは石丸真一という選手は特攻隊を志願して帰らぬ人となってしまったのですが、そのお



兄さんがドラゴンズに見えてお話を聞くことができました。特攻に行く際、最後にキャッチボールをしたあと、「忠厚」とボールに書いて渡したそうです。そのときの教育からきたのではないのかと思います。現在のイラクの問題もそうですが教育というのは重要な難しい問題ですし、孫と遊んでいると教育の大切さがわかります。

昭和25年の2リーグ制になってからAクラス入りするようになりました。29年に天知監督杉下投手で優勝しました。その時杉下投手は32勝12敗という途方もない数字をだしています。日本シリーズでは7試合中5試合登板して優勝しました。当時の選手には岡崎出身の方がたくさん見えたそうです。

第2期の昭和30年以降はなかなか低迷の時代が続きました。昭和35年の農人監督時代は権藤さんが35勝19敗とがんばったんですが優勝はできませんでした。そこで農人監督が大トレードを行って失敗監督を降りられました。

その後昭和38年には全球団に勝ち越しても優勝は逃しました。そのとき杉浦監督からドラゴンズ入りを進められ大学1年生をやめてドラゴンズに入団しました。当時は中退しても入団できたんですがこれ移行できなくなりました。当時は中京商業の中山さんのように落第して4年で全国制覇したこともありいろいろなみでルール違反があったようです。

入団したときは勝浦でキャンプしたのですが、とてもゲームできるような球場ではなかったです。ライトは80メートルしかなかったため、当時首位打者の中さんはそこでレフト打ちがうまくなったといっていました。最初に受けたのが当時のエースの権藤さんでしたがもう肩が壊れていた時代だったのでとても球は遅かったです。当時は柿本さんが下手投げでたいへんよい投手でした。当時はキャッチングの技術はなかったので、すべて柿本さんのリードでうけており、セカンドを刺すことだけを考えていました。3年目からレギュラー入りできるようになりました。

柿本さんは長島さんには勝負をしてよく内角に投げましたが、デットボールを長島さんにぶつけたことが、全国放送で流れ反感を買いそれから、内角攻めができなくなり野球人生がおわってしまいました。長嶋茂雄さんは、球界の宝であり、球界を背負ってきたかたです。監督はインコース攻めを要求しますが、危ないので長島さんに教えておりました。星野投手もコントロールが良かったのでインコース攻めですよと教えたならホームランで星野さんもカッカしていました。

その後コーチ時代に長島さんいっしょの時、私はミットをバンバン叩くからその音でどちらのコースが解って打ちやすかったと言われました。長島さんは耳で判断をしたそうです。星野さんのカーブはパチッと言う音でボールの種類が解ったそうです。立教大学時代夜8時にノックを受けそのとき左の耳のラインでとる感性を身につけたそうです。そういえば、長島さんは真ん中でボールを受けることはなかったです。今少年野球で、片手でとりなさいと言うと監督にそういう教え方はやめてくださいと言われます。

プロ野球の今まで一番いいピッチャーといえば江夏投手だと思います。彼は本当にコントロールの良いピッチャーだったと思います。私は彼の癖をしいていたので結構打つことができたので江夏投手は私が嫌いだったと思います。昭和48年の阪神中日戦で阪神が勝てば巨人を抜いて優勝がかかったとき、球団代表に阪神に勝たせろと言われたんですが、阪神の選手もガチガチで点が入らず、適当に打ったボールがホームランになって結局中日がかかってしまい、巨人が優勝となりました。その後、江夏が週刊誌に暴露した話では、負けるために私のバットに当てにいったとのことです。それくらいコントロールが良かったのです。

話は半分ぐらいしかできませんでした。また機会がありましたら、お話しします。

次回例会案内 平成19年8月29日(水)
卓話 「かちわり」 碧南警察署 副署長 鈴木 勇氏